まちのわだい
masaki's town news

▼8月26日
夏の怖いおはなしかい

夏の怖いおはなしかいは、松前総合文化センターで行われ、夏休み中の子どもたちが大勢参加しました。これは、毎月第４土曜日にふるさとライブラリーが開催しているおはなしかいが広い会場にとびだしたもの。

集まった子どもたちは、絵本の読み聞かせやパネルシアターに瞳を輝かせ、真剣に語り手の話に聞き入っていました。

▼8月23日
高齢者の交通事故をなくそう

町と伊予署が主催する高齢者交通事故防止の出前講座は、恵久美の高齢者サロンで行われ、大勢の住民が参加しました。

県内で高齢者の交通事故があとを絶たないことから、今回の出前講座では、高齢者がよく利用する電動車いす体験が行われました。参加者は、正しい操作の仕方や乗り方を確認しながら、交通安全を誓いました。

▼9月7日
慰霊祭で戦没者の御霊を慰める

戦没者合同慰霊祭は、松前総合文化センターで行われ、遺族や町内関係団体の代表者などが参列しました。白石勝也町長が「戦禍に倒れた方々の御霊を思い、戦争の悲劇を二度と繰り返してはならないと強く誓います」と式辞。続けて遺族代表の八束兼福（かねよし）さんは「戦争の悲惨さを次の世代に語り継いでいくことが我々の責任です」と追悼の言葉を述べ、参列者は白い菊を献花し、犠牲になった町民の冥福を祈りました。

▼8月25日
大間灯ろう流し

大間地区の伝統行事「灯ろう流し」は、盂蘭盆の夜に有明泉で行われました。灯ろうは、シルバークラブの皆さんの手作り。大間地区の人々は、各家庭に事前に配布されていたこの灯ろうを「家族が元気に過ごせるように」と願いを込めて有明橋に持ち寄りました。灯ろう一つ一つに火が灯され、川面に浮かべられると、集まった人は幻想的な風景を見つめながら、過ぎゆく夏を惜しんでいました。